

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2006-171514 (P2006-171514A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-025
 【出願番号】特願 2004-365736 (P2004-365736)
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/40 (2006.01)
A 6 3 F 13/08 (2006.01)
G 0 2 B 27/22 (2006.01)
G 0 2 F 1/13 (2006.01)
G 0 6 F 3/14 (2006.01)
G 0 9 F 9/46 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/40 3 0 2
 A 6 3 F 13/08
 G 0 2 B 27/22
 G 0 2 F 1/13 5 0 5
 G 0 6 F 3/14 3 6 0 A
 G 0 9 F 9/46 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 12 月 5 日 (2007.12.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

第 1 の筐体、第 2 の筐体、第 3 の筐体を有し、

前記第 1 の筐体は第 1 の表示素子と前記第 1 の表示素子を照射する第 1 の照明部を備え、前記第 3 の筐体は第 2 の表示素子を備え、前記第 2 の筐体は前記第 2 の表示素子を照射する第 2 の照明部を備え、

前記第 3 の筐体は、前記第 2 の筐体に重畳した第 1 の状態と、前記第 1 の筐体に重畳した第 2 の状態に移動可能に構成し、前記第 1 の状態では前記第 1 の表示素子と前記第 2 の表示素子がそれぞれ 2 次元画像を表示し、前記第 2 の状態では前記第 1 の表示素子と前記第 2 の表示素子により 3 次元画像を表示することを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記第 3 の筐体は、回転により前記第 1 の状態と前記第 2 の状態を移行することを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記第 3 の筐体が水平移動することにより前記第 1 の状態と前記第 2 の状態を切り替えることを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記第 1 の筐体は、前記第 1 の照明部の光源となる第 1 の光源を有し、前記第 3 の筐体の回転を行う回転部には第 2 の光源を有し、

前記第 1 の状態では該第 2 の光源が前記第 2 の照明部の光源となり、前記第 2 の状態では

は該第 2 の光源は前記第 1 の照明部の光源となることを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置。

【請求項 5】

可動式のタッチパネルを有し、該タッチパネルは前記第 1 の状態では前記第 1 の表示素子の上方に配置され、前記第 2 の状態では前記第 2 の表示素子の上方に配置されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記第 2 の表示素子は、前記第 1 の状態と前記第 2 の状態で、前記第 3 の筐体の回転軸延在方向を水平方向とした場合、同じ図形を表示する際にその表示位置を、前記第 2 の表示素子の上下方向で逆転させ、かつ表示する図形自体も上下反転することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置